

アジア内分泌外科学会藤本賞のご報告

4年前の2012年シンガポールでの第13回アジア内分泌外科学会において、学会創設者の藤本吉秀先生の功績を讃えるため次回より Fujimoto Prize を作ることが決定され、賞金は日本内分泌外科学会の会員有志から募ることになりました。皆様のご協力により、十分量の基金が集まりました。そして、2014年のスリランカでの第14回学会において、1位、2位、3位の3名に藤本賞が授与されました。先日、ソウルにて開催された第15回アジア内分泌外科学会において、第2回目の藤本賞が優秀なFree Paperの3名に贈られました。1位が Korea の Dr. Inhye Park, 2位が Malaysia の Dr. Shahrin Niza, 3位が 東京女子医科大学の Dr. Hiroki Tokumitsu となり、それぞれ藤本賞基金から US\$500, 300, 100 が贈られました。このための支出合計は US\$900, 日本円 103,914 円であり、現時点での基金の残高は 654,583 円となりました。このような支出であると今後6回、12年間分の支出が可能となる見込です。日本内分泌外科学会会員の皆様に感謝しつつ、ご報告申し上げます。

2016年4月20日

藤本賞基金運営委員会

代 表：宮内 昭

副代表：杉谷 巖

監 事：鈴木眞一